
~ 闇風 ~

秀也

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

『 闇風 』

【Nコード】

N2410S

【作者名】

秀也

【あらすじ】

友から失恋相談… 一度 手離れた恋…僕は 君に どう言えば
良かったの…？ 教えてよ…

夜風…

夜はまだ…

風が 冷たいね…

一人

バイクにまたがり

スピードを上げて

走ったよ…

僕の気持ちが高ぶり

熱を冷まさないとね…

辺りは静寂に包まれ

鳴り響くエンジン音…

全身に打ち付ける

冷めたい風が

僕の体を突き刺さす…

体が冷やされ

風が

通り過ぎて行ったよ…

久しぶりの再会…

笑ってたと思ったら

突然…

君が僕の胸に

うづくまり

『じゅめん…』

今日だけ 泣かせて…』

って泣きついてきた…

僕は どうしたらいい…

君とは

友で居たいのに

どうしたらいい…

奪えばよかった…？

僕の頭の中が

解らなくなったよ…

君に惹かれたらいけない…

そう 思いながらも

考えてしまつよ…

君の涙…

みちゃつたから…

僕に触れた細い指…

e t c…

頭から 離れないよ…

これ以上

触れてはいけない…

自分に言い聞かせ

君が元気になればいいと

明るく試したけど

僕じゃ駄目みたいだ…

あいつじゃないと

駄目みたいだ…

なんで 僕に相談するんだよ…

君を忘れよう

考えるも

頭から離れないよ…

君の涙…

家まで君を 送ったけど…

目を伏せた君…

頭から 離れない…

忘れよう

バイクを飛ばすけど

頭から離れない…

一度 手離した恋…

恋した君だから 余計だ…

忘れようとしても

君の辛さや悲しみ…

聞いても

何もしてあげられない…

悔し涙だけだよ…

何もしてあげられなかった…

情けないな…

悔し涙も

闇夜なら隠し

誰も…

気付かない…

熱く高ぶったこの身体に

冷たい夜風は

頭を冷やすチャンスかな…

今の僕には

調度いい…

もう 恋はしない…

あの時…

陰で守ると

決めた日から

恋に

背を向けて走ってきたつもり…

ねえ…

知ってた…？

相談聞くのも 辛いつて…

知ってた…

これで何回目…

想いを经ちきるには

やっぱり

闇夜がいい…

この涙

誰も 気づかないで…

僕の涙…

悔し涙を 隠してよ…

闇夜なら

悔し涙も バレやしない…

僕は

今日も一人…

バイクを

飛ばすからさ…

今の僕には

闇夜風が

あつてて いいのかな…

頭を冷やすには

調度いい…

闇風…

僕の身体を冷まして…

暖かくなる前に

どうか 熱を

冷ましてよ…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2410s/>

～ 闇風 ～

2011年10月8日11時54分発行